

小栗まつり

予報

5月22日(日)

午前10時～



▲昨年の小栗まつり・・・おおぜいの参加者が献香し手を合わせた。

□日 時: 2016平成28年5月22日(日)

□会 場: 東善寺 *駐車場は倉渕小学校校庭

午前10時～ 墓前祭

〈胸像前で〉式辞・挨拶・献花 〈墓前へ移って〉 献香

講演「幕末情報社会と小栗上野介」 〈本堂で〉

東海大学 岩下哲典教授

午後12時30分～

演奏 倉渕中学校音楽部 「小栗のまなざし」など

DVD「小栗上野介」上映

昼市

小栗上野介関連の土地の物産などたくさんの店が出ます。海軍カレー・手打ちソバも評判。

遠路参加される方のためにー

◇特別乗合ジャンボタクシー (22日限定運行・先着9人まで・予約制・片道2,000円) を東善寺で運行

団: 高崎駅9:00→9:50東善寺 園: 東善寺15:00→15:55高崎駅 ・途中乗車下車はできません。

予約は: 榛名観光タクシー027-343-0020 (担当・久保田) へ ・東善寺でも取次ぎます。

講演 岩下 哲典 氏

◆東洋大学教授/長野県出身/幕末維新期の情報史に精通し、江戸幕府の情報・外交・文化政策を講じる。

◆主な著書『権力者と江戸のくすり』北樹出版・『江戸のナポレオン伝説』中公新書・『徳川慶喜 その人と時代』岩田書院・『幕末日本の情報活動』雄山閣・『開国』の情報史』雄山閣・『江戸情報論』北樹出版・『江戸の海外情報ネットワーク』吉川弘文館・『江戸将軍が見た地球』メディアファクトリー新書・『日本のインテリジェンス 江戸から近・現代へ』右文書院



◇小栗上野介のトートバッグはいかがー

「侍気分」社制作販売 2950円



<http://samuraikibun.com/>

ジーパンで知られる倉敷の丈夫なデニム地/裏のアクセント・ネジ釘がカッコイイ!

・右「精悍敏捷せいかんびんしょう」は福地桜痴が、左「鞠躬尽瘁きつぎゅうじんすい」は福沢諭吉が小栗上野介を評した言葉。注文したら、制作者が「父親の代からの小栗上野介ファン」とのことで世田谷区からわざわざ届けに来てくれました。

◇ワシントンに 遣米使節の上陸記

念碑建立 5月13日予定

万延元年遣米使節子孫の会では、遣米使節一行が初めてアメリカの地を踏んだワシントン海軍造船所（いまは造船をしない海軍施設）構内に上陸記念碑を建立する計画を立て、ワシントン在住の村垣孝会長が米務省や国防総省と折衝を重ねた結果、建立許可が



▲ワシントン海軍造船所構内の博物館

あって5月13日に除幕式を行なうこととなった。日本からも除幕式に合わせて会員や関係者が渡米して参列の予定。

◇パナマ講演会で「小栗上野介」紹介

3月24日（木） 衆議院第一議員会館

パナマ鉄道建設の小説『黄金の馬』を出版した三冬社の企画、日本パナマ議員連盟（衛藤征士郎衆議院副議長）協力、パナマ大使館協賛による「パナマ講演会&パナマゲイシャコーヒー試飲会」が行われ、三冬社社長佐藤公彦氏が「パナマが起こした日本の幕末・明治の産業革命～日本はパナマ地峡鉄道からcompany（株式会社）と



▲リッテル・ディアス パナマ大使と子孫の会会員（女性2名）・住職

鉄道の経営方式を使節目付の小栗忠順が帰国後に活かして、日本初の株式会社「兵庫商社」などが設立され、日本に株式会社が根付いていった。また鉄道の乗車経験から帰国後江戸ー横浜間に鉄道建設を小栗が提案し、渋沢栄一が記録しているなど、日本とパナマのつながりの原点を語った。

◆ゲイシャコーヒーは エチオピア原産のコーヒーでパナマで生産輸出される。まろやかなコーヒーとして、近年人気となったが、たくさん実らないので高価。「ゲシャ」という村の名がいつか「ゲイシャ」となったもので、日本の「芸者」とは無関係です。

◇伊東・東郷記念館で

4月19日

小栗上野介パネル展と講演

伊東市の東郷記念館でボランティアグループ伊東自然歴史案内会による小栗上野介パネル展が行われるのに合わせ、住職もボラン



ティアで小栗上野介の講演を市民に聴いていただいた。会場となった伊東東郷記念館は東郷平八郎が夫人の療養のために昭和4年に建てた別荘で、市内に

現存する唯一の本物の別荘として大切に保存されている。パネル展示は5月8日まで。

◇NHK②Eテレ「知恵泉ちえいす」で

小栗上野介 紹介

2月2日（火）

スケールの大きな夢に挑むには？～

小栗上野介・プレッシャーや逆風に勝つ極意



日本がチョンマゲの時代、しかも動乱で幕府組織が大揺れのなか、小栗は遣米使節の見聞を活かして日本近代化という壮大な夢を描き、横須賀造船所の建設を目指す…、として展開した。

◇DVD「小栗上野介」制作・販売 3,800円



東善寺オリジナル・解説付きスライドショー 1、日本産業革命の地・横須賀製鉄所〈15分〉／2、1860万延元年遣米使節の旅〈13分〉／3、幕末開明の人・小栗上野介の生涯〈16分〉／4、上州にかけた夢むなし〈15分〉／5、威臨丸神話の成立〈10分〉

東善寺「たつなみ会」に入りませんか

□会員には 小栗上野介顕彰会の機関誌「たつなみ」（年1回発行）を発行のつど買い上げて送るほか、「小栗上野介情報」「東善寺だより」など幕末・小栗公関連の情報を随時お送りします。

□会費 年1300円 申し込みは東善寺へ

□倉渕町の過疎化で小栗上野介顕彰会員が減少し運営に苦心しています。「たつなみ」買い上げが活動支援につながります